

授業で「瓦葺き」を体験 能開大東京校で実習



職業能力開発総合大
学校東京校(東京都小
平市)では7日、授業
の一環として瓦葺きの
実習が行われた。ベテ
ラン技能士の指導のも
と、28名の学生が実習
に取り組んだ。
昨年同様、(株)全日本
瓦工事業連盟が瓦の提
供や技能士の派遣な
ど、全面的に協力。学

生は2班に分かれて、
和瓦・洋瓦の施工講習
と実習棟の屋根を葺く
作業を交互に行った。
学生たちは技能士から
手ほどきを受けなが
ら、悪戦苦闘しつつも
真剣に瓦葺きに取り組
んでいた。
この実習は、同校応
用課程建築施工システ
ム技術科のカリキュラ
ムの一つである「施工・
施工管理実習」の一部
として行われたもの。
実際に1棟の木造住宅
を建築する実習で、伏
図や軸組図の作成から
上棟式や餅まきまで行
うなど、他の学校では

ほとんど見
られない内
容の実習と
なってい
る。
こうした
内容につい
て、同校の
和田浩一教
授は「現場
管理をする
者の心がわかるように
なってほしい」と、技
能を理解することが重
要であるためだと述べ
ている。大工技能はも
ちろん、上棟式や餅ま
きも技能の一つとみな
し、実習に組み込むこ



熟練の技に見入る学生たち

との「効果は大きい」
という。
和田教授は「今後は
大工や瓦葺き以外に
も、さまざまな職種の
技能士を招いて実習を
行いたい」と意欲を見
せている。